

令和6年度 第1回 たけとよみらい会議 議事録

令和6年9月18日(水)
思いやりセンター2階会議室
10時00分～12時00分

議題(1) 昨年度の振り返り

【事務局】

資料1にて説明

委員長：LINEの拡充について、何か意見等あれば

委員：他の市町のLINEでは、首長の会見などが流れてくる場合がある。イベント情報等も大事だが、町政に興味を持ってもらえる発信の仕方も大事だと思う。
また、定期的に受信設定の確認を促す配信も必要かと思う。

委員：子育て関係の情報について、中高生向けの情報が見当たらないように思う。施策がそもそもないのか、あるけれども情報が発信されていないのか分からない。

委員：HPから探していた以前と比べると、情報は探しやすくなったと感じる。

事務局：今後のLINE運営の参考にさせて頂きたい。

議題(2) KPI分析評価(グループワーク)

各分野の気になる部分等をピックアップし、深掘りしていく
また、計画期間が残り1年の中で、できることは何か、考える

Aグループ（石井、棚橋、岩瀬、皿井）

担当分野：基本目標1（若者や子育て世代に選ばれるまちになる）

■KPI の数字の動きについて

- ・情報発信については徐々に進んでいる印象

★乳幼児健診のアンケートにおいて、今後もこの地域で子育てをしていきたい人の割合が非常に高い（98%）。一方、0～18歳の子供を持つ親へのアンケートでは、子育てしやすさの満足度が約61%と、乖離が大きい

★：特に気になる内容



■特に気になる内容についての分析

子供の年齢が上がるにつれ、親の満足度が低下している可能性がある。

■計画期間残り1年で、できることは何か

満足度が低下している要因について、アンケートの実施などによる分析が必要
分析の結果等を町HP等で公表し、課題の把握に努めていることを発信
長期的な課題であるため、次期総合戦略へ盛り込んでいくべき

Bグループ（福田、羽山、花田）

担当分野：基本目標2（人を引き寄せ、地域経済を活性化させる）

■KPI の数字の動きについて

- ・ふるさと納税は、目標値を達成し、維持できている
- ・味の蔵でのみそ・たまり販売数が増加傾向
- ★ファミリーフレンドリー企業、くるみん・えるぼし登録企業数に変化がない
- ・戦略的に「待ち」の姿勢・傾向あり
- ・企業への働きかけが必要なものが伸び悩む傾向

★：特に気になる内容



■特に気になる内容についての分析

国の認定制度である「くるみん」「えるぼし」について、メリットも含め企業の認知度が低いと思われる。

企業への働きかけ手法が不明瞭であり、先行きが見えない。

■計画期間残り1年で、できることは何か

多種多様なメンバーを集めてプロジェクトチームを作り、改善や提案の場を設けるなど目標値達成に向け前進させることが必要。

Cグループ（長谷川、小澤、明壁）

担当分野：基本目標3（次世代を育て、持続可能なまちをつくる）

■KPIの数字の動きについて

- ・SNSを活用した参加募集により公募会議等の参加者が増えている
- ・公募会議⇔ワークショップのつながりが生まれてきている
- ・憩いのサロンボランティアの減少
- ・KPIの数字が下がらない設定（累計）は好ましくなく、施策に対する変化量が分かるようにしたほうが良い

★将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

★：特に気になる内容



■特に気になる内容についての分析

メンバーが固定されてきている可能性がある。

ワークショップ等を実施できるファシリテーター、中庸なことを実施できる人材の育成が必要。

■計画期間残り1年で、できることは何か

将来的に武豊町に住んでもらう人を増やすため、家族連れをターゲットとした発信、および参加型の企画などを増やせるとよい。実施に向けた予算の確保も必要。まちと人が育つ上手なサイクルの構築を考えられるとよい。

事務局：頂いた意見はプロジェクトチームにフィードバックしていく。予算化については検討していきたい。

その他 今後のスケジュールについて

【事務局】

今年度のたけとよみらい会議は、残り2回予定。

第2回：11月11日（月）14時～16時

第3回：2月4日（火）10時～12時

【委員長】

皆さんお疲れ様でした。

印象に残ったこととして、数字そのものだけでなく「この数字を上げることに何の意味があるのか」「この数字とこの数字との関連性は」といった本質的な部分や関連性といった部分にまで目を向け、掘り下げた議論が多々行われていた。また、それらを解決するために、様々な主体と連携して議論し解決していこうとする方向性を持っていたのは、非常に良かった。今後もこのような議論が続いていくとよい。

以 上